

♡ 広報

かみゆき 9



午後から子どもみこしが地区内を練り歩き、夜は歌謡ショーなど上岩崎地区が盛り上がった

守り伝えたいふるさとの祭り ～上岩崎の「火祭り」～

8月22日(月)に、上岩崎地区で毎年恒例の「火祭り」が行われました。これは、浅間神社への山際にたいまつを燃やし、農作物の豊作を祈り、病気や災害から身を守るお祭りとして伝え続けられています。

暑い中、汗を流し一生懸命みこしを担ぐ巢五六子どもクラブのみんな。育成会長の数野幸次さん(上岩崎)は「子どもたちが地元の方々との交流や地域への関心を高めながら、このお祭りがいつまでも続いて欲しいですね。」と話してくれました。

地域みんなが伝統行事を通して、ふるさとを愛し、喜びを分かち合えることができれば素晴らしいですね。

CONTENTS

主な内容

【特集】

防災対策はだいじょうぶ?
..... 2~4

《シリーズ》

市町村合併を追って
こんなまちにしたいね。..... 5~6

Pick Up生涯学習の広場..... 7

ときあなたは どう行動しますか？



平成16年10月23日に発生した
新潟県中越地震の様子

想像をはるかに超えた地震の威力で
木造家屋の1階は押しつぶされた



道路の地盤が沈下、
ひび割れ、マンホールが突き
出すなど、車両での移動は不
可能となってしまう

いつ起こるか分からない。いつ起きても不思議ではない。それが自然災害です。日本各地で発生している「地震」。悲惨な光景は、テレビや新聞などを通じて報道されています。大規模地震が起こったときの被害を最小限に食い止めるには、その怖さを知り、日頃からいざという時のための備えがたいせつです。

今回の特集では、地震にスポットをあて、どのようにしたらたいせつな財産や家族を守れるのか。いざという時のために、日頃何をすればいいのか。みなさんといっしょに地震に対する「心の備え」について考えてみます。

地震はなぜ起きる

地球の表面は、プレートと呼ばれる岩の板によって覆われています。これらのプレートは、それぞれ異なる方向にゆっくり動いています。日本はそのうち四枚のプレートが重なり合う場所にあります。地震発生の仕組みは、大きく分けると三つに分かれます。

一つ目は、海側と陸側のプレートが、直接押し合い、すれ違ったために起きる地震です。二つ目は、陸側のプレートの内部にある断層によって起きる地震です。三つ目は、海側のプレートの中で起きる地震です。

地震の仕組みや予知の研究は、世界中で進んでいます。しかし、まだまだ不明な点が多いです。

もしものための非常持ち出し品を

「みなさんの家庭では非常時の持ち出し品は準備されていますか？」と聞くと、ほとんどの場合は「勝沼は大きな地震はこないから大丈夫だよ。」というような声が聞かれます。

しかし、地震だけが災害ではありません。また、大きな災害が発生すると水道や電気などのライフラインが中断し、食料などの流通が途絶えることがあります。素早く非常持ち出し品「の準備をしておくことがたいせつです。」

地震 その



避難所マップ

普段の準備が

いざというときの冷静な行動に

阪神大震災では、約八割の人が建物の崩壊や家具の転倒が原因で亡くなりました。この教訓から地震対策でもっとも重要なのは、「室内の安全」家具の転倒防止です。

地震の揺れはさまざまで、家具が倒れたり、その影響で物が落ちてきたりすると非常に危険です。家具などの転倒防止をしつかりすることや、高い場所には重いものを置かないのが基本です。また、窓や戸棚のガラスの

平成七年の阪神大震災から十年が経ちました。実際に被災者に話を伺いました。「被災地では想像を超えた状況の中で、公衆電話を利用するための十円玉、移動するための自転車、断水時のお風呂代わりとしてドライシャンプー、ウェットティッシュ、居場所を知らせるための笛、水運ぶためのポリタンク、調理の

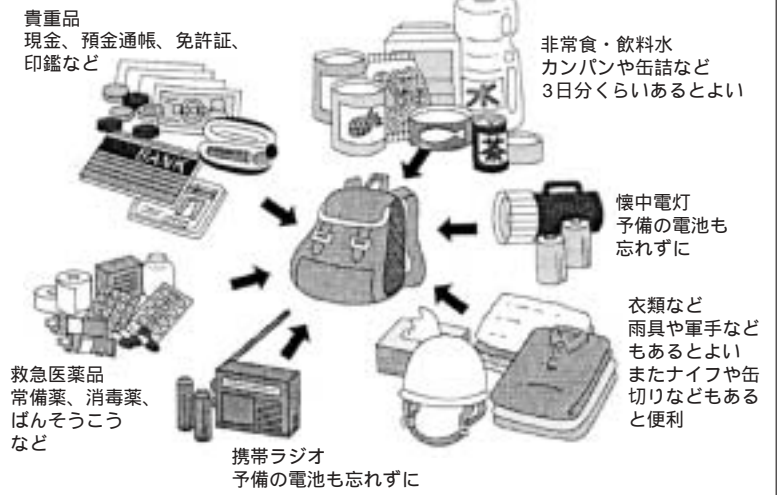
飛散によりけがをする場合があります。ガラスに飛散防止フィルムを貼り付けるような対策をしましょう。また、非難する場合の、家屋内の逃げ道となる通路や出入り口には家具や荷物を置かないようにしましょう。

被災地ではこんなものが役立つ

ための携帯用コンロ、野菜不足を考えヒタミン剤などが実際に役立つ」と話してくれました。

平成十四年度に町から町内全世帯に「もしものために・防災ハンドブック」を配布しました。上図のように、避難所は町内二十一カ所あります。また、避難場所だけではなく、防災への対策は町ホームページでもご覧できます。

一般的な非常時持ち出し品



インタビュー



区長会長 杉田 由彰さん(勝沼)

日々防災の意識を

「災害は忘れた頃にやってくる。」九月一日は、防災の日である。

この日は、大正十二年、関東一帯を襲った大震災を忘れないための日です。災害は、わたしたちの平和な暮らしを一瞬のうちに奪い、不安に陥れるものです。しかし、かかる災害も「ど元過ぎれば熱さ忘るる。」で、その直後は二度とあのような災難に遭わないようにと心掛けていても、いつか忘れていることが多い。地震ばかりでなく、多くの災害も然りです。

「備えあれば憂いなし。」を常に心に体し、いついかなる所で、どんな災害に遭遇しても慌てず冷静に、しかも、的確に対処できるようにしておくことが肝要であると思えます。それには、地域住民みなさんの日頃からの訓練や心掛けがたいせつではないでしょうか。



「災害用伝言ダイヤル171」の利用方法

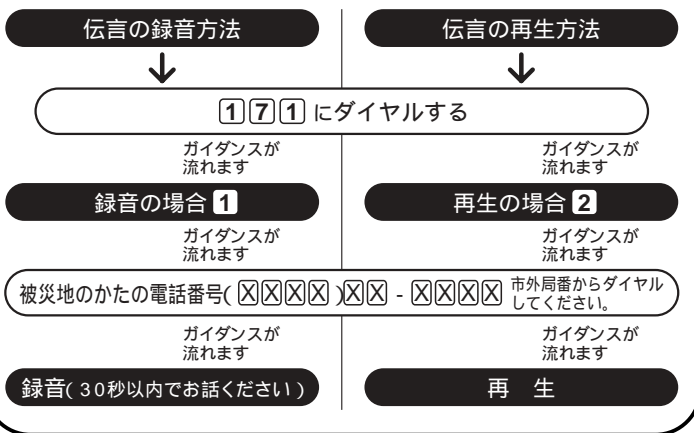
災害用伝言ダイヤルは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地へ電話の通信が増加し、つながりにくい状況になった場合にサービスが開始されます。

これは、被災地内の電話番号をメールボックスとして、安否などの情報を音声で伝達するボイスメールです。

171をダイヤルして、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行います。

171 災害用伝言ダイヤル

災害発生時に
たいせつな人の安否情報が
確認できるサービス



互いに助け合う気持ちと2つのポイント

塩山消防署勝沼分署
廣瀬 義守係長

広域災害が発生すると、消防署や消防団は広い地域の災害活動を同時進行で行います。このため、一カ所に集中した災害活動が行えなくなるのが現状です。実際に災害が発生したとき、次の二点を心掛けていただきたいと考えます。

一、自分や家族の命を守る

突然襲う地震、火災、豪雨、山崩れなどの災害にどのように対処し、どう立ち向かうか多くの方は迷います。

しかし、どのような場合でも一時的には、自分の命は自分で守ること、さらに、家族は家族で守らなければなりません。一人ひとりが防災訓練を通して、また、過去の災害から学ぶ必要がここにあります。

二、自分たちの地域は自分たちで守る

勝沼町の各地区自治会には、自主防災組織がつくられており、活発に訓練が展開されています。この組織の精神は、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が必要です。

出火防止、初期消火、避難誘導、負傷者の救護を主体とし、さらに、一人暮らしや寝たきりのお年寄り、また、体の不自由なかたの救出、救護も気遣わなければなりません。互いに助け合う気持ちを常に持ち続ける必要があります。

塩山消防署勝沼分署は、防火、防災、救急を主体とし住民の暮らしに安全と安心のため努めていきます。今後も、ご支援、ご協力をよろしく願います。

「災害に強いまちづくり」
自主防災に向けて

防災は、まず個々の対応が基本になります。さらに地域での対応が不可欠になります。

町には、行政区ごとを単位とした自主防災組織があります。

公的機関も全力を挙げて応急対応に取り組みますが、消防署など防災機関だけでは十分な対応

ができないことも考えられます。

そんな時にこそ、隣近所が集まり、お互いに協力しながら防災活動に組織的に取り組むことが「災害に強いまちづくり」につながり、大きな力となります。

一人ひとりが日ごろからの備えを

大地震が今後も予想される今、私たちは無防備のままではいられません。自然の動きは止められませんが、被害を最小限にする「備え」はできるはず。みなさんも家庭で防災会議を開き、災害時の対処法を学ぶこと、避難場所を家庭で確認しあうこと、非常持ち出し品を準備することなど、日ごろからの備えを万全にすることが大切です。

勝沼でも、いつ発生するかわからない自然災害。いざという時のために、今こそ一人ひとりが、防災への意識を持ち、自然災害に対する心の準備をしなければなりません。さらに、たいせつな家庭を守るため、日ごろから災害に対する知識と心構えを十分身につけて、万全の対策を立てておくことが、最大の災害への備えとなり、一人ひとりの「心の備え」になるに違いありません。



9月1日の防災の日。勝沼中学校では、全校生徒が避難訓練を真剣に行った



第12回合併協議会が開催。10月には合併協議会の廃止などが協議される

『甲州市』誕生まで あとわずか

九月六日(火)に勝沼町町民会館で、第十二回東山梨地域合併協議会が開催されました。塩山市長が田辺篤氏に代わったのに伴い、新会長に田辺氏が就任したことが報告されました。先月に続いて、今月も「合併でどう変わります 2」と題して、役場各担当課から情報をお知らせします。ぜひ一読ください。なお、詳しくは十月初旬に合併協議会から発行される「甲州市・くらしのガイドブック」をご覧ください。

合併で どう変わります 2

【税務課から】

法人市民税の法人税割は、平成十七年十一月以降に事業年度が終了する法人から年間十三・一%に変わります。

納期前納付報奨金(市民税・固定資産税)は、年税額を第一期の納付内(固定資産税五月三十一日まで、市民税六月三〇日まで)に全額納付した場合に、全納報奨金の対象となります。

・納期前納付の税額×〇・五%×納期前月数
・各期の税額は五万円を上限とします。

・報奨金は十円未満切り捨てになります。

・国保税について
・平成十七年度中の国民健康保険税の計算方法や納期は、今まで旧市町村で行っていたとおりです。

・十一月一日以降に世帯の一部のかたが転居した場合は、転居先の旧市村の税率により税額を再計算します。

・国民健康保険税は、十八年度から統一されます。

・原動機付自転車等の標識について「甲州市」になっても、塩山市・勝沼町・大和村発行の標識(ナンバープレート)は有効です。

新市の標識に変更されるかたは、無料で変更することができます。

【甲州市 市税納期月】(平成18年度から)

期別	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期
市民税	6月	8月	10月	1月				
固定資産税	5月	7月	12月	2月				
軽自動車税	4月							
国民健康保険税	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

【出納室から】

口座振替依頼書について
勝沼町では、町税や水道料等について口座振替をする場合には、口座振替依頼書を金融機関窓口へ提出していただいています。

十一月一日の甲州市への合併に先立ち、口座振替依頼書の様式が変わります。九月二十二日(木)までは勝沼町の様式で口座振替依頼書を使用できますが、九月二十六日(月)からは甲州市の新しい様式を使用していただくこととなります。

市税等の口座振替は、合併以後もこれまでどおりで特別な場合を除いて、改めて手続きをする必要はありません。収納代理金融機関についてみずほ銀行甲府支店、りそな銀行甲府支店は、平成十八年三月三十一日までの取り扱いとなります。

ただし、りそな銀行については、十七年度分住民税特別徴収(平成十八年五月分・六月十日納期限)まで利用いただけです。

【町民課から】

「勝沼町チャイルドシート購入費補助金交付制度」は、十月三十一日までの申請は受

け付け可能ですが、合併後は制度が廃止されます。

「無料法律相談」は、新市において実施されます。月一回、各地域総合局を順番で開催する予定です。

国保高額療養費支給時期について
勝沼町では原則診療月の二カ月後に支給している国保高額療養費が新市においては、三カ月後に支給されます。

住所表示について
合併日十一月一日より住民票上の住所の中にある「の」については除かれます。

(例)

合併前
勝沼町勝沼756番地の1
合併後
甲州市勝沼町
勝沼756番地1

戸籍の電算化について
勝沼町では十月一日より戸籍が電算化され、紙戸籍から磁気ディスクを用いた戸籍となります。

また、これに伴い、戸籍地番号については住居表示と同じく「の」は除かれます。

*なお戸籍地番号の表示および住所表示がどのように変わったかを表す証明書を窓口にて用意する予定です。

こんなまちにしたいね。

町民のかたに、
 「ふるさと勝沼への想い」
 「どんな甲州市になってほしいのか」
 「どんな甲州市にしたいのか」
 なごを伺いました。

知名度を守り

果樹振興を展開

新市になっても、果樹栽培を中心とした農業地域は変わらないと思います。また、農業が主要産業のひとつであると思います。

最近、価格低迷、後継者不足など問題も多くあります。ただ、この地域には知名度もあり、ぶどうなどの果樹の品質は高い評価を受けています。

新市でも、各地域を極め細かく考え、行政、JA、農家が一体となって安心して農業のできる市になってもらいたいと思います。



農業士会
伊藤敏仁さん
(下岩崎)

福祉コミュニティの輪を広げたい

「甲州市」誕生も間近です。故事に「甲」とは十の第一、等級も成績も第一位という意、まさに日本六十余州の最高の「州」市でありたいものです。

ぶどうとワインも日本一の誇りがありますが、まちづくりにおいても市名に恥じない誇りをもつべきではないでしょうか。

さて、私たち老人クラブは、自主的にふれあい活動を通して、介護予防など健康づくりを基本にクラブ活動の全体像を描きながらがんばっています。新市社協支部の小地域福祉コミュニティづくり活動の盛んなまちに期待しています。



町老人クラブ会長
早川泰正さん
(等々力)

地域住民が先頭に産業の発展を

構造改革の中、ぶどう産業とワイン産業の町、勝沼でもその影響をはかりかねています。生活基盤と密着した両産業は、地域イメージが強く、行政もその産業と文化の促進に積極的に関わってきました。甲州市への地域拡大が今後の施策にどのような影響を与えるのか、不安を駆り立てます。

歴史的にも地域産業として誇れる勝沼のまちが今まで通りのぶどうとワインの町として発展してほしいと思います。行政にも、勝沼の地域の特性を生かした施策をお願いすると共に、今後は地域住民が先頭に立つ活動が必要なのでしょう。ワイン産業に従事している者として、地域に多少なりとも貢献できればと思っています。



ワイナリー経営
池田俊和さん
(小佐手)



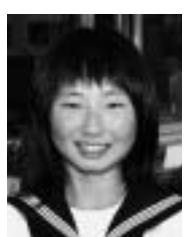
保育士
三枝美樹さん
(勝沼)

子どもたちの笑顔があふれるまちに

たくさんの元気な子どもたちと毎日楽しく過ごしています。思いやりをもち、自分らしさが伸び伸びと出せ、個性を伸ばせるような保育を心掛けています。

自分自身も持ち前の明るさと子どもに負けないパワーを発揮し、職場におけるチームワークを高めると共に、他の園との交流や情報交換など、将来を担う子どもたちにたくさんの愛情を注ぎ精一杯保育を続けていきたいです。

子どもたちの笑顔があふれ、明るく住みやすい甲州市になるとよいと思います。



勝沼中学生会副会長
谷口美沙都さん
(中原)

あいさつから始まるまちづくり

勝沼中学校では、朝のあいさつ運動を実施しています。登校時の「おはよう」の一言で、全校生徒とのコミュニケーションがとれ笑顔から一日が始まります。

私は、新しい市になったら市民みんなが安心して暮らせる甲州市になることを願っています。

そのためにも「あいさつ」は、人と人をつなぎ、安心できるまちへの手段のひとつだと思います。まず、笑顔のあいさつから、地域みんなが気持ちのよい甲州市になることを期待しています。



消防団祝分団長
大島昭吾さん
(上岩崎)

自分たちのまちは自分たちで

新しい市になることにより、勝沼町消防団から、甲州市消防団へと名前が変わります。

新市になっても、さまざまな部分で消防団員として取り組み「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神を忘れず、地域住民が安心・安全に暮らせるまちになるよう、これからも活動を続けていきたいです。

また、積極的な防災活動を通し、地域住民の方々との交流ができれば素晴らしいことではないでしょうか。

生涯学習の広場 PickUp

本の読み聞かせやキャラバンカーの見学もさせてもらいました



「親子夏祭り」 和田町の子どもたち来町

八月二十一日(日)に町民体育館を会場に親子夏祭りが行われました。このお祭りは、ジュニアリーダーや親子夏祭り実行委員会が中心となり準備運営する手づくりのお祭りです。

今年は、千葉県和田町からも子どもたちが訪れ、ヨーヨー遊びや木工づくりなど勝沼の子どもたちといっしょに夏休みの思い出をつくりました。



手づくりのお祭りとして、みんな一生懸命取り組んでいた

全国訪問

『お話し隊』が
やってきた!

九月四日(日)に勝沼町図書館で、全国訪問『お話し隊』のキャラバンカーがトラックいっぱい絵本を乗せてやってきました。

これは、講談社が絵本をトラックに乗せ全国を回り、子どもたちに絵本と親しんでもらおうという企画で行われています。図書館に集まったちびっこたちは、みんな夢中になり、いつもと違う本と触れ合いました。

各部門、全校生徒の瞳は輝いていました



川を歩き、自分たちの環境を知る

〜田草川調査隊〜

八月二十一日(日)にかつぬま「まちづくりプロジェクト」が企画する田草川調査隊が、田草川の三カ所の水質などを調査しました。

夏休み中の子どもや親子たちが参加して、川の中の小魚や、水辺の生き物、植物、また、科学的な水質調査も行われました。参加した子どもたちはびしょぬれになりながら一生懸命取り組んでいました。

参加した高校生は「水質が思ったより汚れていることを知りました。自分たちができることをしてきれいな水の流れる町にしたいです」と話してくれました。



勝沼に流れる河川の水質も、一人ひとりの心がけから

勝沼中学校「紫薫祭」 全校生徒の心がひとつに

九月十日(土)・十一日(日)の二日間、勝沼中学校で第三十三回紫薫祭が行われました。

今年は勝沼町立としての最後の紫薫祭になることから、今ここに立ち、青春の花咲かせよう、信じる仲間と共に最高の終幕を、をスローガンに各部門全校生徒が一生懸命取り組みました。体育の部では、みんな各種目に汗を流し競い合っていました。

介護予防について

町保健師 内田真由美

保健師だより

日本テレビ「24時間テレビ愛は地球を救う」の名物コーナーで今年一番組史上最高齢、五十九歳の丸山弁護士が挑戦し見事完走したことは、見た人へ勇氣と感動を与えたことでしょう。

何ヶ月も前からトレーニングをしてきたとはいえ大変な努力だったと思います。五十歳代後半というところからの生活習慣病をもっている人が多く、まさしく生活習慣に気をつけていくようになります。(この丸山弁護士はおそらく生活習慣病がないのでは...)

食生活や運動習慣などを原因とする生活習慣病の増加に伴い認知症(痴呆)や寝たきりなどの要介護状態になる人々が増えていきます。(勝沼町では三百五十人の人が介護認定を受けています。)

元気で長生きするためには生活

習慣病を予防するだけでは十分ではありません。「老化」を積極的に予防する必要があります。介護が必要となる原因の多くは高齢による衰弱、転倒・骨折、認知症(痴呆)、関節疾患などの「老化現象」によるものです。

身体の機能は、適切な対策を行えば維持改善することができま

す。「足腰が弱くなって次第に歩けなくなる」「物忘れがひどくなる」「日常生活が送れなくなる」のは「年をとれば仕方ないこと」ではなく、予防できる事です。

年をとっても元気でいきいきと暮らせるようにするために『介護予防』が必要です。『介護予防』とは、高齢者ができるだけ要介護・要支援の状態にならないようにするために、また、既に要介護・要支援となつた人の状態の改善・悪化防止のための健康づくり事業です。

例えば、高齢者の運動指導、転倒骨折の予防、認知症(痴呆)の予防等、食生活の改善等が有ります。今後、介護保険制度を見直す中で介護予防サービスも幅広く実施されていく事となります。

勝沼の葡萄冷蔵庫

残る近代化遺産

シリーズ

勝沼の近代化遺産

大正時代中頃から昭和の始めになぜ多くの葡萄冷蔵庫が、当時では高価なコンクリートを使用してまで建設されたのであろうか。この頃勝沼では、勝沼駅が大正二年に開設され、翌三年には祝吊橋が完成し、ぶどうの出荷が駅まで荷馬車を使って行えるようになった。また、日川の兩岸では明治四十四年から開始された水制工事がおむね完成し、大正四年頃より、明治四〇年の水害で一面の河原となつた耕地が元の所有者に変換がはじまり、多くの人が、砂地となつた台地から石を片付け葡萄を植えた様子が写真に残されている。面積は二十四町歩、このぶどうが四年から六年後一斉に結実し出荷できるようになり、しかも馬車と鉄道による大量輸送手段も整つていたわけであるから、ぶどうの過剰出荷による価格暴落が起きたはずである。この問題解決の切り札として考案されたのが葡萄冷蔵庫であるとするなら、高価な材料を駆使し短期間に多数建設されたこともうなずける。

最先端の発明をぶどうの価格安定に

おそろく、明治二〇年代から三〇年代には祝地区では葡萄酒の地下貯蔵庫が建設されており、この貯蔵庫に原料用の葡萄を一時保管することがあったのではないかと考えられ、甲州ぶどうの特色である日持ちの良さを利用し、葡萄酒貯蔵倉と同じ低温保管施設を設け、収穫した葡萄をここに一時保管し、一定数量の葡萄を長期にわたり出荷することで価格の安定化を図つたと考えられる。

現在のように電気冷蔵庫が普及した環境では野菜や果物ではあたり前に行われていることであるが、戦前にこの出荷法を確立した勝沼はまさに近代農業技術の最先端の発明をしたことになり、今は竹林の中に埋もれているが勝沼の葡萄冷蔵庫はまさに近代農業に係る産業遺産といえ、ぶどうの町勝沼の財産としてその保存公開を行う必要がある。



現在、竹林に埋もれかけている葡萄冷蔵庫内。勝沼の産業遺産として保存公開が求められている

(町教育委員会 室伏徹)

旬のアイデアメニュー **料理**

CATV放映中!

たまねぎとトマトのグラタン

勝沼町食生活改善推進委員会

材料(4人分)

たまねぎ	2個	桜えび	20g
トマト	4個	みつば	少々
じゃがいも	4個	塩・こしょう	少々
とろけるチーズ	4枚	マヨネーズ	適量

作り方

たまねぎは半分に切ってからスライスし、水にさらしておく。トマト、じゃがいもは5センチくらいの



1人分：202kcal

輪切りにする。(じゃがいもが大きい場合は半分に切る。)じゃがいもはラップをして電子レンジで10分加熱し、マヨネーズで和える。

耐熱皿にたまねぎ、トマト、じゃがいもを並べ、塩・こしょうをする。

桜えびと、とろけるチーズをその上にのせ、電子レンジで5分加熱して、最後にみつばをのせて出来上がり。

電子レンジの加熱時間は、500ワットが目安になっています。

「アイデアメニュー」の作り方は、CATVリクエストチャンネルでご覧いただけます。みなさんも作り方をご覧になり、食卓の一品にいかがですか？

かつぬま文芸

俳句

俳壇紫

挨拶も鸚鵡返しの炎暑かな

中村もと志

長き夜の轆轤と廻す華奢な腕

小菅 京子

水溜る石の窪みや花南天

辻 葉月

一杯の水分から含ふ夏の山

小倉 百合

ハンカチの折り目正しき面接日

坂本 桂子

竹竿と大事に続いて見る晩夏

相川 美水

葛青葉眠れる酒庫を抱き尽くす

辻 雲子

帰省子のひと息に飲む里の水

原 青波

青葉風絵筆一気の色重ね

甘利 忠義

溜息も肌にとどまる炎暑かな

大村 公宏

蟹の人生定めのままに横に這ふ

岡村 大建

曝書する昭和の色の裏表紙

菊島 公一



馬を使い、ぶどうが出荷されていた。その他、全国各地の名所が絵はがきから楽しめる

明治から昭和

勝沼小学校で『絵はがき』が
二千五百枚見つかる

現在、勝沼小学校は、大規模改造工事が行われています。工事着工前の夏休みに、学校職員が校舎内の荷物を整理していたところ図書室で、明治から昭和初期の全国の観光地や旧日本軍の軍事演習などの様子がわかる絵はがき約二千五百枚が見つかりました。その中には、町内で撮影された



戦争に関する絵はがきも約130枚あり、学校の授業に使用されたと思われる

ぶどうの出荷風景などもありました。絵はがきの裏には「勝沼尋常高等小学校之印」と判が押されていたことから、太平洋戦争当時、教師が保護者などから絵はがきを集め、授業の教材として利用したと見られています。

町では、文化財である「旧田中銀行博物館」を管理するボランティアグループ「旧田中銀行友の会」に整理を依頼し、博物館で展示しています。

町長からの手紙

大河ドラマに『風林火山』 甲州市は幸先よいスタート

先週は台風一四号が襲来、西日本に大きな爪あとを残しました。被災された地域の皆さんには心からお見舞いを申しあげたいと思います。県内は大した影響もなく、三千メートル級の山々が守ってくれる甲斐の国は、まさに天然の要害、ありがたいことだと思えます。翌朝、台風一過の青空は、思わず見入ってしまうほど鮮やかでした。勝沼町として最後の定例議会が開かれました。議員の皆さんにも熱心に討議をさせていただきましたが、初日の町政報告で町の歴史を振り返りながら、私の思いも述べさせていただきました。閉町の役目を担う身として、感慨深いものを感じます。閉町式は十月二十日に行い、十月三十一日で五十一年の歴史に幕を閉じることになります。十一月一日からは、甲州市として新しい歴史が始まります。先日のニュースで、再来年のNHK大河ドラマに井上靖原作の『風林火山』が決まったことを知りました。恵林寺、大善寺、景德院など、武田家ゆかりの史跡が多い甲州市にとっては、幸先よいスタートになりそうです。『風林火山』は山本勘介が主人公、信玄が当主になったところから仕え、参謀として活躍、川中島で戦死するまでが描かれています。放映までに読み返してみたいと思います。この欄に向かうのも最後となりました。来月は閉町のあいさつになってしまいますので、こういう形で書かせていただくのは、今回限りです。もともと筆無精の身、なんとか続けてきましたが、毎月、書くのが締め切り間際になってしまい、担当者を悩ませました。長い間つたない手紙におつき合いました。ほんとうにありがとうございました。

勝沼町長 三枝 武人

お誕生

地区	氏名	保護者
勝沼	武田ひかり	良人・亮子
"	三井 元太	潤一・一美
等々力	小梁川 睦美	裕治・洋美
"	丸山 奈緒	史彦・明子
小佐手	黒木 一作	一由・幸子

おくやみ

地区	氏名	年齢	届出人
勝沼	岩間 園枝	81	岩間 正興
"	弦間 美郎	79	弦間 浩士
小佐手	駒田 夏江	89	駒田 明
"	太田 善廣	81	太田 広人
山	辻 ヒデ子	100	辻 裕

平成17年8月1日～8月31日届出(敬称略)

みんなのアイドル ちびっこフォト

かわいい瞳 みんな元気



坂本優太朗(5歳)・知世ちゃん(勝沼) 1歳
いつも元気なちいちゃんと、少し押し気味の優ちゃん。これからもふたり仲良く元気にすくすく育ってね、父・博司さん、母・明美さん。



若杉彩花ちゃん (3歳) (勝沼)
いつも明るくおしゃべりな彩花ちゃん。これからも、元気に家族みんなを楽しませてねと、父・裕一さん、母・俊子さん。

ちびっこフォトでは、元気なお子さんの写真を募集しています。ご両親のコメントを添えて広報担当までお申し込みください。

編集後記

本格的な夏も過ぎ、暦はずでに九月。毎月、広報発行日に追われ、一年の月日も足早に過ぎ去っていきます。

十一月一日「甲州市」が誕生し、「広報かつぬま」は来月号で最終号となります。私も広報担当として、小さなお子さんからお年寄りまで、多くのおみなさんとのふれあいに、どれだけ元気をいただいたことでしょうか。町民の方々の姿を追い続けた広報かつぬまの五十年は、勝沼の歴史そのものです。広報かつぬまの最後の担当者として歴史の重さと誇りを感じています。時は過ぎ行き、有終の美で最終号に望みます。(H)



甲州市誕生まで、あふとわすか。取材していると、甲州がどうが勝沼の歴史を漂わせていました

お詫言

先月号(八月号)の四ページ「夏休み企画・ぶどう郷をめぐり新たな発見」の中で、「安国山立正寺」とありましたが、「休息山立正寺」の誤りでした。訂正してお詫言いたします。

発行/勝沼町役場 編集/まちづくり推進室 〒409-1392 山梨県東山梨郡勝沼町勝沼75-6-1 TEL 0553-44-1111 FAX 0553-44-0001 E-mail: kouhou01@town.katsunuma.yamanashi.jp